

社員と中学生が 一緒に社会課題に取り組む職場体験



学校：墨田区立両国中学校 職場体験
実施期間：2017年7月11日（火）～13日（木）
授業時間：3日間（総合的な学習の時間として）

東京都内の公立中学校ではキャリア教育の一環として、2年生が数日間、地域商店、地元産業、民間企業、公的施設などの職場で、実際の仕事を体験する「職場体験」が行なわれています。日本フィランソロピー協会では、この職場体験を「中学生が職場を知る」だけでなく、中学生と大人と一緒に社会の課題を考えて行動する機会としたいと考え、職場体験プログラムの企画をサポートしました。

体験先：NECソリューションイノベータ株式会社

テーマ：障がいがある人と働く

参加生徒数：5名

同社では、働く障がいがある社員へのインタビューや、同社が障がいがある人の暮らしをどのようにICTの技術で解決しようとしているのかを学びました。また地域の障がい者支援施設が社員食堂で物品販売を行なうイベントを手伝うことにより、障がいがある人とともに地域の中で暮らすということはどういうことか、考えました。



体験先：株式会社りそな銀行本所支店

テーマ：地域の人を「特殊詐欺」から守る

参加生徒：3名

同社では、銀行業務の学びに加えて、近年大きな被害が出ている「特殊詐欺」から高齢者を守る取り組みを、社員と一緒に考えました。金融犯罪の現状や、実際にりそな銀行の窓口で起きた事例などを学び、お客様に配布する啓発チラシを作成、店頭で積極的に声をかけ、配布しました。

